

千年の森便り No.249

2024.9.26

ちば千年の森をつくる会

<http://toyofusajima.html.xdomain.jp/>

代表 福島成樹

sennennomori@hotmail.co.jp

活動の記録

9月16日（月祝）天候 雨

前回の活動日は途中から土砂降りという状況でしたが、今回は、曇り一時雨という天気予報に反して集合時間からずっと雨！というお天気でした。基本的に晴れ男のはずだったのですが…おかしいな～。

そんなお天気のせいか集まったのは5人、雨のために当初予定していた二ホンヅカ生息状況調査、駐車場の草刈り、物置の屋根づくりはできず、次回のきのこ観察会に備えて島内をゆっくり散策してきのこ探索を行いました。

参加者は、秋元、伊藤、大原、坂本、福島の会員5名でした。



集合写真（撮影者：伊藤）

〇きのこは木の子か雨の子か

9月の活動日も雨にたたられました。

島へ入る吊り橋の手前に集合した時に上空を強い雨雲が通過した模様です。土砂降りの雨に身動きが取れないので小屋の軒下で雑談しながら暫く雨宿りをしました。

徒歩で通学していた小学生の頃にも不意な雨に会うと同じような事をしたので、何か懐かしい気分になりました。

雨上がりの林内はしっとりした空気が満ち、暑さも和らいだ感じていたから、これから雨のたびにきのこが目を覚まし、来月の公開行事に向けて出盛りになると思います。

きのこの当たり年と外れの年の差はタイミングの良い雨があるか無いかにかかっているようなので、きのこは木の子であると同時に雨の子だとも思います。被害の出るような大雨は困りますが、来月までに程よい雨が降ることを願いましょう。（坂本）



小屋の軒先で雨宿りしながら雑談中



オニテングタケ？



ヤブレベニタケ？



カブラテングタケ



菌糸？

〇雨の豊英島雑感

予想外の雨で予定していた作業が中止になり、何とはなしに私がはじめて豊英島に足を踏み入れた日のことを思い出しました。9年前、里山活動に興味をもってちば里山カレッジの受講生となり、フィールド研修でこの島を訪問しました。平成27年11月14日で、その日も雨が降っていました。今日ほどの雨ではありませんでしたが、つり橋からは雨にかすむ豊英湖が幻想的に見え、感動のようなものを覚えた記憶があります。今日の豊英湖も当時感じた不思議な魅力を感じさせてくれています。湖面には波紋、風紋、強い雨のためなのか何やらわけの

わからない不思議な模様が見えます。落葉樹の葉は、猛暑のためでしょうか、赤や黄色の混ざった濡れた葉が紅葉のように見えます。小降りになった島の散策では、最近あまり見かけなかったキノコが多数見られました。雨さまざまです。

このあたりの地質は砂岩・泥岩であり、基盤と表層との境界付近から搾り水があり、厳冬期はツララに、それ以外の時は小さな水の流れをつくっています。また、乾季には枯れ、比較的雨の多い時期に滝が出現します。通称幻の滝と呼んでいます。

物足りない感じもしましたがこんな活動日もいいのかもしれません。(秋元)



雨の豊英湖



豊英島に渡る吊り橋



湖面の模様



赤や黄色の葉がちらほら



ウコンハツ



ドクツルタケ



ベニタケの仲間



アラゲキクラゲ

〇雨の中の散策も楽しい

いつもはゆっくり島を散策する時間がなかなか取れないのですが、今回は雨で作業が中止となったため、ゆっくり散策することができました。レインウェアを着て準備をすれば、雨の中の散策もなかなか楽しいものです。

観察できたきのこは、オニテングタケ？、ヤブレベニタケ？、カブラテングタケ、ウコンハツ、ドクツルタケ、ベニタケの仲間複数、アラゲキクラゲ、ウスヒラタケ、イグチの仲間複数、シロオニタケ、タマゴタケ、ホウキタケの仲間、シロハツ？など、ほかに、ジムグリの幼蛇、島の中ではほとんど見かけないカラスザンショウの実生などを観察しました。来月の秋のきのこ観察会でもいろいろなきのこが見られますように！（福島）



イグチの仲間を発見



枯れ木に出たきのこを観察



写真を撮る秋元さん



シロオニタケ



タマゴタケ



イグチの仲間



不明



ベニタケの仲間とウコンハツ



ホウキタケの仲間



シロハツ?



シロオニタケ?



シロオニタケ?とオニテングタケ?



硬いきのこ



ウコンハツとヤブレベニタケ?



ジムグリの幼蛇



カラスザンショウの実生

○桐の話

桐の植林が、クラウドファンディングで話題になっています。私も、桐で防災家具、防災住宅を作ろうと考えています。桐は、軽い、燃えにくい、狂いが少ないなど、木のアルミニウムのような存在です。

また、木なのに草のような成長をします。切っても切っても生えるたくましさは見上げたものです。CO₂の吸収、藤のような花はSDGsには最適な木と言えます。もて余している桐があれば、切りに行きます。(大原)

お知らせ

○次回の定例活動は **10月14日(月祝)** です。

公開行事として、秋のきのこ観察会を実施します。夏の観察会に続き、元中央博物館の吹春先生と、硬いきのこに詳しい中島先生をお迎えし、豪華講師陣による観察会となります。

集合場所は、清和県民の森管理事務所下の駐車場、会員の集合時間は9:20です。通常の活動日と集合場所、時間が異なりますのでご注意ください。

島に入る際は、ヤマビル、ダニ対策と、安全のためにヘルメット着用を忘れずに！
ご参加をよろしくお願いいたします。